

TANPEN塾

集中講座〈5回シリーズ〉

2019/1/24～2/21〈毎週木曜日〉18:00～20:30

会場：(株)クリーク・アンド・リバー社 5階 Bホール
港区新橋4-1-1 新虎通り CORE

「映文連 TANPEN塾」は、今日のメディア状況を踏まえながら、これから映像業界で活躍する人材育成をめざす講座です。業界で活躍する講師陣をお招きし、短編映像に関して、様々な角度から映像のつくり方を伝授します。これから業界へ入る学生や制作プロダクションで働く若手制作者は勿論のこと、経験を積んだ人も聞きたくなる、創作の極意やプロデュースの秘訣を知ることができる講座内容となっています。

1/24 ブランド作りを広告クリエイティブで



第1部 ブランドを多角的に

佐藤雄介氏

(株)電通 第5CRプランニング局 クリエイティブ・ディレクター/CMプランナー

最近の主な仕事に、ドコモ「星プロ」、カップヌードル「HUNGRY DAYSアオハルかよ」、ギャツビー「GATSBY COP なんだ有能か」、ポカリスエット「踊る修学旅行」、マルコメ「世界初かわいい味噌汁」など。2017年に、クリエイター・オブ・ザ・イヤーを史上最年少で受賞。注目される佐藤氏にブランド展開の秘訣について聞く。



第2部 ブランドへのグルーブとカタルシスをつくる

奥山雄太氏

(株)SIX クリエイティブディレクター/CMプランナー

2017年にACCフィルム部門グランプリや世界広告賞で7つのグランプリを受賞した「GRAVITY CAT」、2018年にACCフィルム部門ゴールドを受賞した「PS4 Lineup Music Video」など、これまでに国内外で100以上を受賞。テレビCM畑で育った知見と技術を生かし、映像によるエモーショナルなエンゲージメントに取り組む氏に、動画時代におけるブランドエンターテインメントや、その手法について聞く。

1/31 動画が起こす新しいコミュニケーションとは



第1部 YouTubeは誰のためのプラットフォームなのか？

川村成光氏

(株)クリーク・アンド・リバー社 オンライン・クリエイター・ディビジョン マネージャー

Google公認のMCNとして、再生回数でシェア率2位を誇るクリーク・アンド・リバー社のYouTube事業を牽引する氏が、日本のYouTubeの成長をけん引した様々なバックボーンを持つクリエイターや企業を紹介するとともに、YouTubeのチャンネル成長のメカニズムをコンテンツジャンル別に解説。現状を分析しつつ、YouTubeが今後のオンライン動画クリエイターに提供するチャンスについて考察する。



第2部 動画時代を勝ち抜く方法

明石ガクト氏

ワンメディア(株) 代表取締役

スマートフォンが登場し、誰もが掌のなかにカメラとスクリーンを持つようになった。今後5年で世界のあらゆるものが動画化されるという予測のもと、ビジュアル化する世界で新しいコンテンツやメディアを作っていくにはどうすればよいか、動画時代を生き抜くヒントについて語る。

2/7 4K・8Kだから描ける世界とは



第1部 8K映像で生命誕生を捉える

藤枝愛優美氏

(株)ヨネ・プロダクション 代表取締役 (株)エフェクト 代表取締役

鶏卵の発生をもとに、心臓や脳、腸、腎臓などの臓器を構成する細胞の躍動を8K/4Kの顕微鏡撮影で捉えた『からだの中の宇宙 高精細映像が解き明かす』が「映文連アワード2018」最優秀作品賞(グランプリ)を受賞。細胞の高精細映像を撮影する秘訣や8K映像の可能性について語る。

永峰智氏



第2部 8K超高解像度を活かしたコンテンツ制作

田中誠人氏

(株)NHKアート 総合美術センター デジタルデザイン部 デザインテクノロジスト

いよいよ12月から4K8K衛星放送がスタートした。多様なシーンで培ったCG・VFXの制作ノウハウと、最新テクノロジーを融合させた新しい映像表現やシステムを造り出しているNHKアート。SIGGRAPH ASIA 2018に出展した8Kリアルタイムレンダリングとマルチサウンドシステムを組み合わせたインタラクティブコンテンツ「The Universe」を中心に、8K超高解像度を活かしたコンテンツ制作について語る。

2/14 進化する展示映像の世界



第1部 先端テクノロジーで拡張する映像の未来

引地耕太氏

(株)ワンツウテン クリエイティブディレクター

市川老蔵出演「通し狂言 源氏物語」での役者のリアルタイムセンシング+リアルタイムCGレンダリングによるイマーシブ(没入型)プロジェクション、センシング+データヴィジュアルズによる新しいスポーツの体験をつくるCYBER BOCCIA、OMRON「LINK→SYNC」での映像+VRによる未来の駅の体験のプロトタイプなど、先端テクノロジーによる拡張する新しい映像の可能性について語る。



第2部 展示映像の可能性について

落合正夫氏

(株)モニタージュ ディレクター

『パナソニック ミラノサローネ2017 Electronics Meets Crafts』に続き、去年はパナソニックの創業者松下幸之助の足跡を辿る「MEET MR.MATSUSHITA」で「映文連アワード2018」経済産業大臣賞とi賞(個人賞)をダブル受賞。Digital Sinage Award 2018において「フェルサブルータ」空間演出が「DSA 10周年作品」<クリエイティブ部門賞>「エンターテインメント部門賞」の3タイトルを受賞。海外で上映する映像演出の工夫、空間全体で体感する映像作りなど、展示映像の手法と可能性について語る。

2/21 動画メディアの未来とは



第1部 メディアは今後どうなる ~動画配信の今

福原伸治氏

BuzzFeed Japan(株) 動画統括部長

大容量のデータ通信が可能になる5Gの運用開始をにらんで、海外・国内陣営と問わず、文字メディアの大手新聞社から新興Webメディアまで、様々なメディアが動画事業に参入している。広告も、ニュースもあらゆるコンテンツが動画化される時代の到来に突入しつつあるいま、これからのメディア勢力図はどうか、テレビとネットの最前線に従事している経験から語る。



第2部 いま、ネット動画をどう活かすか?

高橋俊輔氏

(株)Viibar 取締役COO / プロデューサー

NHKの番組ディレクターを経て、2014年からViibarで動画メディア「bouncy」の運営や大手メディア企業の動画事業支援を行う。放送局をはじめ様々なメディアが動画事業に参入し、ネットとテレビの境目はなくなりつつあるが、ネット動画には従来と異なるコンテンツや運営方法が求められ目的も様々。事例を基にネット動画の活用方法を作り手の目線から語る。

人材育成セミナー
映文連
TANPEN塾

募集人員

40名(申込み先着順、定員の都合上、全コース申込みを優先いたします)

問い合わせ・申込先

〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町17-18 藤和日本橋小網町ビル7階
公益社団法人映像文化製作者連盟 TEL:03-3662-0236

受講料

5回全コース 会員30,000円、一般35,000円、1回券 会員7,000円、一般8,000円(税別)

申し込み方法

申込者の氏名、会社名、連絡先、希望コースをご記入の上、
E-mail(info@eibunren.or.jp)でお送りください。
申し込み後、受講料の振込先をご連絡します。お振込確認後、受講券をお送りいたします。